

# 第2学年 生き方「国際社会と自分」

## 1 人権教育として育てたい三つの力

| 認識力  | 自己啓発力   | 行動力   |
|--|---|---|
| ◎社会の中の外国につながる人々への差別や偏見を見抜く力<br>◎人権課題について正しく理解する力 | ◎自分自身が多文化共生社会を実現するための当事者であると自覚し、先入観や偏見を改めようとする力 | ◎外国につながる人々と共に、互いに尊重し合い、対等に関わる多文化共生社会の実現に向けて、主体的に取り組もうとする力 |

## 2 総合的な学習の時間としての単元の目標

| 知識及び技能   | 思考力、判断力、表現力等   | 学びに向かう力、人間性等  |
|--|--|---|
| 外国人に対する差別や偏見があることに気づき、外国につながる人々の伝統や文化、考え方の違いを認め、互いに尊重し合い、主体的に対等に関わっていくことが多文化共生社会の実現につながることを理解することができる。 | 調べ学習や仲間との語りを通して、自分の中にも外国人を差別する弱い心があることに気づき、多文化共生社会を実現するために自分たちがどのように行動するとよいかを多面的・多角的に考察することができる。 | 自分の心の弱さを乗り越えながら、外国につながる人々と互いの伝統や文化、考え方を尊重し合い、対等に関わる多文化共生社会の実現に向けて、主体的に取り組もうとしている。 |

## 3 総合的な学習の時間としての単元の評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| ①日本における外国人に対する人権課題について、差別や偏見があることを理解している。<br>②日本における外国人への差別や偏見の現状について、タブレット端末を用いながら、目的に応じて情報を適切に収集している。<br>③外国人に対する人権課題と自分との関わりについて考え続けてきたことによって、自らの行為が未来社会に深く関わっていることに気付いている。 | ①外国人に対する人権課題と向き合いながら、課題解決への見通しをもっている。<br>②外国人に対する人権課題の正しい理解に必要な情報を、立場に応じて適切に収集している。<br>③差別や偏見を生み出しているのは人間の心の弱さや社会構造であることを、現実と理想の対比から考察している。<br>④心の弱さを乗り越えようとしている自分を踏まえて、相手意識や目的意識に応じて、分かりやすく表現している。 | ①異なる仲間の意見を受け入れながら、自分自身の心の弱さを見つめ直している。<br>②過去の経験や自分とは異なる仲間の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。<br>③自分の生き方を見つめ直し、外国人に対する人権課題の解決に進んで取り組もうとしている。 |

## 4 単元指導計画

| 時 | ねらい   | 学習活動   | ・指導のポイント ○準備物<br>★葛藤を生み出す手立て<br>◎語らいを生み出す手立て  | 知技 | 思判表 | 主体 |
|---|---|--|---|----|-----|----|
| 1 | 日本に住む外国人の実態から、多文化共生社会の実現には外国人の人権について学ぶ必要があることを知り、単元の学習の見通しをもつことができる。(認識力)   | ①来日外国人の数や現在の在日外国人の数を調べる。<br>【全体】<br>課題：日本に住む外国人について考えよう<br>②映像資料「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～(33分)」を視聴し、外国人に対する差別の実態を知る。<br>【全体】<br>③外国人に対する差別について交流する。<br>【全体】<br>④本時の感想を書く。<br>【個人】   | ・2021年7月、東京オリンピックの影響で訪日外国人旅行者数が5万1100人になったことや、令和4年度現在およそ296万2000人の人が在日外国人であることなどを提示し、多文化共生社会が進んでいることを押さえる。<br>○映像資料「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」  |    | ①   |    |
| 2 | 日本における外国人差別の現状を調べることを通して、日本という国で暮らすことに辛さや苦しみを感している人がいることが分かる。(認識力)          | ①前時の学習を振り返り、他にどのような問題があるかを考える。<br>【全体】<br>課題：日本における外国人差別の問題を知ろう<br>②自分が気になるテーマを一つ選び、どのような問題が起きているかを調べる。<br>【個人】<br>③調べてみて疑問に思ったこと、考えたことをワークシートに書く。<br>【個人】                     | ・「職業選択」、「交際・結婚」、「サービス拒否」、「ヘイトスピーチ」、「地域とのつながり」、「留学生」、「その他」のテーマの中から、興味や関心のあるものを選ばせる。<br>・具体的な事例を調べさせることで、様々な差別があることに気付かせる。<br>○ワークシート、タブレット端末   |    | ②   | ②  |
| 3 |   | 課題：日本における外国人差別の問題をまとめよう<br>①「問題となる事象」、「問題の背景」、「行われている対策」を整理し、必要な情報を集める。<br>【個人】<br>②集めた情報を改めて整理し、プレゼンにまとめる。<br>【個人】  | ・ワークシートを使って情報を整理させることで、差別の問題やその対応など、日本の社会の現状を捉えさせる。<br>○ワークシート、タブレット端末  |    | ②   | ②  |
| 4 | 調べたことを仲間と伝え合う活動を通して、様々な立場の人が多様な場面で差別されて苦しんでいることが分かる。(認識力)                   | 課題：日本における外国人差別の問題について、調べたことを交流しよう<br>①ロイロノートを使い、調べたテーマについて発表する。<br>【個人】<br>②発表から疑問に思ったことを聞く。<br>【グループ】<br>③交流を終えて、外国人差別について改めて感じたことをワークシートに書く。<br>【個人】                         | ・各グループの発表を聞くことで、実際にどのような差別があるのか、具体的な事例を理解させる。<br>・最後に感想を記入させ、日本にある外国人差別に対する否定的な気持ちを改めて表出させる。<br>○タブレット端末、ロイロノート、ワークシート  |    |     | ②  |
| 5 | 在日韓国・朝鮮人に対する差別問題の動画の視聴を通して、長く続く外国人への差別問題が今も残っていることが分かる。(認識力)                | ①在日韓国・朝鮮人差別という問題が長年の課題としてあることを確かめる。<br>【全体】<br>課題：在日韓国・朝鮮人に対する差別を知ろう<br>②映像資料「#アベプラ『在日差別』」を視聴し、在日朝鮮人の差別問題について知る。<br>【全体】<br>③差別の原因となる歴史や、問題そのものについて分かったことをまとめる。<br>【個人】        | ・在日韓国・朝鮮人に対する差別の歴史や概要を取り扱うことで、次時以降の学習を深めるために必要な知識を身に付けさせる。<br>・個人で分かったことを書きまとめさせることで、知識の定着を図る。<br>○映像資料「#アベプラ『在日差別』」、ワークシート   |    | ①   |    |
| 6 | 映像資料を通して、外国人がどのような差別や偏見を受け、苦しんでいるのかが分かる。(認識力)                               | ①前時の感想をもとに、外国人が受けている差別の実態を確認する。<br>【全体】<br>課題：日本に住む外国人が抱える悩みや苦しみについて考えよう<br>②映像資料「ホームタウン～朴英美(パク・ヨンミ)のまち～」を視聴する。<br>【全体】<br>③映像資料の感想を朴さんの気持ちに着目して書く。<br>【個人】                    | ・映像資料は随時韓国語などが話される場面があるため、字幕ありで視聴させる。また、朴さんの気持ちに着目して視聴するように指示する。<br>・43分40秒までを視聴させる。<br>○映像資料「ホームタウン～朴英美(パク・ヨンミ)のまち～」、ワークシート  |    | ①   |    |
| 7 | 朴さんの気持ちを考えることを通じて、ありのままの自分で生きられない被害者の苦しみに気づき、差別は良くないという考えを深めることができる。(自己啓発力) | 課題：朴さんの気持ちについて考えよう<br>①前時の感想をもとに映像資料を振り返る。<br>【全体】<br>②朴さんの気持ちを場面ごとに考え、ワークシートに記入する。<br>【個人】<br>③書いた内容を交流する。<br>【全体】<br>④朴さんがどんなことに苦しんでいるのかを整理する。<br>【全体】<br>⑤本時の感想を書く。<br>【個人】 | ・②では、垣内さんに担当を外すように言われた場面と同僚に「韓国人的に。」と言われた場面とを分けて考えさせることで、発した側の悪意の有無ではなく、「自分たちとは違う。」という感覚が朴さんを苦しめていることに気付かせる。<br>・④では、「担当を外されるほうがよっぽどしんどい」のはなぜだろう。」と問うことで、「ありのままの自分で生きられない」ことが朴さんを苦しめていることに気付かせる。<br>○ワークシート |    | ①   |    |

|    |   |   |  |   |   |
|----|---|---|--|---|---|
| 8  | <p>朴さんに冷たい態度をとる垣内さんの気持ちを通して、外国人を国籍でひとまとめにして考えてしまう決めつけた見方が自分の中にもあることに気づき、一人一人の人間として対等に接していきたいという思いを深めることができる。(自己啓発力)</p> | <p>①前時に考えた朴さんの気持ちを振り返る。【全体】<br/>課題: <u>朴さんに冷たい態度をとる垣内さんの気持ちを考えよう</u></p> <p>②朴さんに冷たい態度をとる垣内さんの気持ちを考える。【全体】</p> <p>③垣内さんがなぜ「朝鮮人」に対して態度を変えるのかを考える。【個人】⇒【全体】</p> <p>★「もし自分が垣内さんだったら、朴さんにどのように接するだろうか。」</p> <p>◎「できる」、「できない」、「迷う」の立場で考える。</p> <p>④誰もが安心して暮らせるようにするために、自分はどうしていきたいかを記入し、交流する。【個人】⇒【全体】</p> | <p>・③では、娘が韓国人と結婚してしまったことが理由として挙げられる。そこで、「なぜ韓国人と結婚することに反対したのだろう。」や、「娘の結婚と朴さんに対する態度は関係ないのではないか。」などと問い返し、朴さん自身の人間性でなく、「外国人はこうだ。」という偏見をもっていた垣内さんの弱さに気付かせる。</p> <p>★発問によって、「あるべき自分」と「弱さをもった自分」との間に生まれる葛藤を意図的に生み出す。</p> <p>◎行動には表さずとも、心の中に差別的な意識がないかを問うことで、自分の心の弱さと向き合わせ、語らいにつなげる。</p> <p>○ワークシート、タブレット端末、ロイロノート</p> | ③ | ① |
| 9  | <p>垣内さんの心の変容を考えることを通して、相手を理解しようとする気持ちの大切さに気づき、外国人を一人の人間として尊重していこうとする気持ちを深めることができる。(自己啓発力)</p>                           | <p>課題: <u>垣内さんが朴さんをお願いをする場面の気持ちについて考えよう</u></p> <p>①垣内さんが朴さんをお願いをする場面の気持ちを考え、ワークシートに記入する。【個人】</p> <p>②書いたことを交流する。【全体】</p> <p>③垣内さんの気持ちが変わった理由を考え、ワークシートに記入する。【個人】</p> <p>④垣内さんの気持ちを変えたものについて交流する。【グループ】⇒【全体】</p> <p>⑤本時の感想を書く。【個人】</p>  | <p>・生徒の実態に応じて、映像資料をもう一度見る(40分45秒から。垣内さんがナースコールをお願いをする場面)。</p> <p>・垣内さんの気持ちを変えるきっかけが様々な人との関わりであったことに気付かせ、差別や偏見を乗り越えるためには相手を知ろうとすることが大切だという考えを深めさせる。</p> <p>○ワークシート、ホワイトボード</p>  |   | ③ |
| 10 | <p>日本における外国人への差別に対して、自分に何ができるのか考えることができる。(自己啓発力)</p>  | <p>①これまでの学習を振り返る。【全体】<br/>課題: <u>日本社会における外国人への差別に対して、自分は何ができるか考えよう</u></p> <p>②身近な差別の問題に対して、自分にできることを考え、交流する。【個人】⇒【グループ】</p> <p>③本時の感想を書く。【個人】</p>  | <p>・考えが思いつかない生徒に対して、タブレット端末で外国人差別解消に対する取り組みを調べさせる。</p> <p>・社会全体の取組だけではなく、自分自身でできることを考えさせる。</p> <p>○ワークシート、タブレット端末</p>  | ③ | ③ |
| 11 | <p>一連の学習の振り返りや映像資料の視聴を通して、自分の心の弱さを乗り越えて、よりよい生活をしていくために自分ができることを真剣に考えることができる。</p>  | <p>①映像資料の残り(43分以降)を視聴する。【全体】</p> <p>②49分から始まる「おいしいドレッシング」の部分をもう一度視聴する。【全体】</p> <p>課題: <u>これまでの学習を振り返り、自分の思いや考えを書こう</u></p> <p>③「おいしいドレッシング」とはどんなことだと思うのか、感想を書く。【個人】</p> <p>④発表会に向けた準備をする。【個人】</p>   | <p>・「おいしいドレッシング」とは、外国人とともに、それぞれのよさを活かして生きていくために必要なものを聞いている。生徒の実態に応じて、説明を加え、視点を明らかにした感想を書かせる。</p>   | ③ | ④ |
| 12 | <p>自分の思いを整理し、相手を意識して、分かりやすく発表することができる。(行動力)</p>   | <p>課題: <u>自分の思いや考えを伝えよう</u></p> <p>①発表会を行う。【グループ】</p> <p>②抽出生徒の発表を聞く。【全体】</p> <p>③学習のまとめをする。【全体】</p> <p>④感想用紙を切り取り、相手に渡す。【グループ】</p>   | <p>・発表後には口頭で感想を言うとともに、感想用紙にも感想を書き、切り取って渡すことができるようにする。</p> <p>・心の変容がある生徒を事前に抽出しておき、その思いを全体で共有できるようにする。</p> <p>○感想用紙</p>   | ④ | ③ |

5 本時について

【ねらい】 朴さんに冷たい態度をとる垣内さんの気持ちを考えることを通して、外国人を国籍でひとまとめにして考えてしまう決めつけた見方が自分の中にもあることに気づき、一人の人間として尊重し、対等に接していきたいという思いを深めることができる。

| 課程 | 学習活動・予想される生徒の反応   | 留意点 ★葛藤を生み出す指導 ●語らいを生み出す指導   |
|----|---|--|
| 導入 | <p>①前時に考えた朴さんの気持ちを振り返る。【全体】</p> <p><u>朴さんに冷たい態度をとる垣内さんの気持ちを考えよう</u></p>   | <p>①朴さんが「ありのままの自分で生きられない」と辛さを感じていることを確かめる。</p>   |
| 展開 | <p>②朴さんに冷たい態度をとる垣内さんの気持ちを考える。【全体】</p> <p>・朝鮮人とは話したくないから。 ・日本人とは違うと思っているから。<br/>・なぜ娘を奪った朝鮮人の世話にならないといけないかと思っているから。</p> <p>③そんな垣内さんをどう思うかを交流する。【全体】</p> <p>・国籍で差別するなんてよくない。 ・同じ人間なのだから、対等に接するべき。<br/>・国籍ではなく、一人の人間としてみるべき。</p> <p><b>理想</b></p> <p>④垣内さんがなぜ「朝鮮人」に対して態度を変えるのかを考える。「なぜ『朝鮮人』とは話したくないのだろう。」「【個人】⇒【全体】</p> <p>・戦争中の経験から朝鮮人を見下しているから。<br/>・周りの人も朝鮮人を差別する時代に生きていたので、それが当たり前になっていくから。<br/>・自分の娘が国際結婚し、一度も帰ってこないのを、娘をとられたかと思っているから。</p> <p>⑤自分が垣内さん立場だったら朴さんにどのように接するかを考え、交流する。【個人】⇒【全体】</p> <p>「もしあなたが垣内さんだったら、朝鮮人である朴さんに対して、他の看護師さんと同じように接することができるか。」</p> <p>・差別するのはいけないことだし、話す言葉も同じで困らないから、同じように接することができる。<br/>・最初は嫌だと思うけど、優しい朴さんを見ていたら、同じように接することができるようになる。<br/>・もし私が垣内さんだったら、ずっと見下してきた朝鮮人に対して、同じように接するのは難しいかもしれない。<br/>・社会全体が朝鮮人を差別していた時代に生きていたら、朝鮮人を差別するのがいけないことだとも思わないだろうし、周りに合わせて差別してしまうかもしれない。<br/>・朝鮮人に娘をとられたかと思っているし、垣内さんほどではないにしても、同じ国の人だという理由ででなく嫌な態度をとってしまうかもしれない。</p> | <p>②垣内さんにとって「朴さん」ではなく「朝鮮人」であることが要因だと確かめる。</p> <p>③垣内さんの態度を客観的に考えさせることで、理想となる姿や考え方を確認する。</p> <p>④ロイロノートに提出させ、生徒の考えを把握する。その後、意図的指名で考えを交流させ、垣内さんの状況を振り返りながら、垣内さんの朝鮮人に対する差別意識を明確にする。</p> <p>★朴さんに冷たく接する垣内さんを客観的に評価することで、「理想とする自分」を顕在化させる。また、朝鮮人を見下していたことについて、「垣内さんだけだったのか。」と問い返すことで、第6時の内容を想起させ、朝鮮人に対する差別意識が社会全体で共有されていたことを確認する。これにより、周りの人たちが朝鮮人を差別している時代であったことを意識させ、「もし自分が垣内さんだったら」という問いを共感的に考えられるようにする。この二つの手立てにより「理想」と「自分の中にもある弱さ」を明確にし、葛藤を生み出す。(③・④)</p> <p>⑤ロイロノートの提出箱を使い、同じように接することが「できる」、「できない」、「迷う」の3つの立場で考えさせる。</p> <p>●立場を決めた理由や、垣内さんほどではなくても、全く変わらぬ態度で接することができるのか、態度は変わらずとも気持ちの上で違うことはないかなどを繰り返し問いかけていくことで、自分自身や仲間の考え方をより深く見つめさせ、語らいを生み出す。(⑤)</p> <p>「自分が困るか困らないかが大事なのかな。」</p> <p><b>心の弱さ</b></p> <p>弱さ 困らないことが大事→自分勝手な生活意識</p> <p>弱さ 「朴さんが優しい人だから、と言ったけど、そうでなければどう思う？」</p> <p>弱さ やっぱ朝鮮人は、と思う→偏見</p> <p>弱さ 「なぜ『朴さん』を『朝鮮人』とひとまとめで考えてしまうのだろう？」</p> <p>弱さ 相手自身を見ようとしないう→決め付け</p> |
| 終末 | <p>⑥今後どのように行動したいかを書く。【個人】</p> <p>最初は垣内さんの態度をひどいと思ったし、自分はほかの人と同じように関わられると思っていた。でも、みんなの意見を聞いて、相手の国を見下していたり、悪いイメージをもっていたら、同じ国出身の人を見て「ちょっと嫌だな」と思うってしまうこともあるかもしれないと思った。これからは、国籍や名前前で判断するのではなく、一人の人として尊重し、どんな国の人とも対等に接することができるようにしたい。</p>   | <p>⑥誰もが安心して暮らせるようにするために、自分はどうしていきたいかが分かるように、感想の書き方を指導する。ロイロノートの提出箱を共有し、全員が振り返ることができるようにする。</p> <p><b>評価規準【思考・判断・表現】</b></p> <p>外国人を国籍でひとまとめにして考えてしまう決めつけた見方が自分の中にもあることに気づき、一人の人間として尊重し、対等に接していきたいという思いを深めている。</p>  |
|    | ⑦感想を交流する。【全体】   |  |